

2024年6月18日

## 企業年金制度の改定を近畿厚生局に届け出 読売テレビ 定年を65歳に引き上げへ

読売テレビは本日、近畿厚生局に、本年9月1日をもって企業年金制度の変更を行うための届け出を行いました。

当社は、「人生100年時代に向けた一体改革」として、企業年金制度の改定と定年年齢の65歳への引き上げについて検討してきました。

2022年秋に社員に一体改革案を示し、協議を続けていましたが、このたび、企業年金制度の改定手続きに必要な加入者(社員)の同意が得られたことから、手続きを行いました。

今回の改定で当社の企業年金制度は、終身付き確定給付企業年金と確定拠出企業年金を併用していたこれまでの形を、確定拠出企業年金に一本化します。

同時に、これからの少子高齢化社会を見据え、事業活動において高年齢層の活躍が不可欠であると考え、9月1日をもって定年年齢を一括で65歳に引き上げ、終身年金の廃止とのバランスを考慮した上で、60歳から65歳までの新たな雇用制度を創設します。

なお、企業年金制度の改定については、近畿厚生局の承認をもって実施されることとなるため、その進捗状況によっては実施の時期等が変更になる可能性があります。

当社は今後も皆様に信頼され、社会に貢献する放送局であり続けるため、働きやすい職場環境づくりを進めてまいります。